

だれもが安心して 社会参画できる まちを目指して

市では、障害の有無にかかわらず、高齢になっても、どんな立場でも、安心して自由に生活をするために、建物や交通機関などのバリアフリー整備とともに、一人ひとりが多様な人のことを思いやる「心のバリアフリー」を推進しています。



移動等円滑化促進方針

市民（障害のある方、高齢者、子育て中の方）、公共交通事業者、行政（国・県・市）、その他関係者が一体となって、“だれもが安心して社会参画できる「^{みどり}翠の交流都市・糸魚川”を基本理念とした促進方針を策定しました。

バリア（障壁）はどこにある？

バリアフリーに関する課題を把握するために、様々な立場の方にご協力いただき、市内を実際に歩いて点検する「まち歩き点検調査」を行いました。



みんなで意見交換を行いました

▶ その結果見えてきたことは…

- 沿道施設の出入り口等に段差や傾斜が見られる。



- 点字ブロックや白線などが劣化し、認識しにくい。



- 点字ブロックが不連続で案内が分かりにくい。



▶ その他、このような意見もありました。

- 点字ブロックの上に障害物を置かないなど、マナーを徹底してほしい。

- 公共施設などを整備するときは、計画段階から障害者の意見を聞いてほしい。

バリアをなくすために、様々な取組を進めています。

- 幅の広い歩道と点字ブロックの整備



- 階段などにスロープの設置



- 音響式信号機の設置



▶ この他にも…

- 歩道と車道との段差や勾配の緩和
- 施設の出入口と歩道等の段差解消 など